

与謝野町地域公共交通計画 実施事業の進捗状況

施策目標	方策	スケジュール				R5年度の取組状況	進捗状況※	実施主体				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度			与謝野町	交通事業者	事業者	地域住民	関係機関
1. 公共交通利用者の満足度がより高まるサービスの実現	(1) 路線バス・地域内交通の再編による持続可能な交通体系の構築	再編（予約型乗合交通実証運行開始）	再編（持続可能な運行体制や交通体系の構築検討）			令和 5 年 10 月に町営バスの運行エリアを一部再編し予約型乗合交通の実証運行を開始。野田川地域（岩屋・市場エリア、山田エリア、石川エリア）は日本交通㈱への運行業務委託、桑飼エリアは桑飼地区支え合い交通運営協議会への補助支援により実証運行を実施した（実証運行は令和 6 年 9 月まで）。	A	○	○		○	
	(2) 交通結節点での乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの調整	ダイヤ改正時に実施				令和 5 年 10 月と令和 6 年 3 月のダイヤ改正時に合わせて、乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの調整を行った。	A	○	○			○
	(3) 与謝野駅 100 周年に向けた駅周辺部の賑わいづくりと待合環境の整備		設計、施工			令和 5 年 5 月に、地域住民により与謝野駅 100 周年委員会が発足し、駅周辺部の活性化に向けたコンテンツ作りの検討や駅前公園の整備を行った。	B	○		○	○	
	(4) 積極的な情報発信とタイアップ事業の実施	実施可能な取組から着手				町広報媒体を活用し、町内交通体系の再編について情報発信を行ったほか、令和 5 年 10 月と令和 6 年 3 月のダイヤ改正時に与謝野町公共交通時刻表を発行した。また、予約型乗合交通の開始に合わせて、運行エリア別の利用ガイドを発行した。	B	○	○			
2. だれもが公共交通の使い方を理解し、移動することが楽しくなるまちの実現	(1) 幅広い年齢層へ向けた公共交通の乗り方教室やお試し乗車会等の実施	年1～2回実施				予約型乗合交通の事業概要や利用方法を伝える説明会を実施した（26 回、369 人参加）ほか、加悦小学校で丹海バスの乗り方教室を実施した。	B	○	○	○	○	○
	(2) 運転免許証自主返納者の利用促進	通年実施				74 件の申請があり、タクシー券や丹海バス乗車券を交付した。	B	○			○	○
3. 自家用車に過度に頼らない、まちづくりと連携した公共交通の実現	(1) 商業者等他分野の関係者との連携による外出機会の創出	通年実施				商業施設と連携し、予約型乗合交通の利用促進キャンペーン（スタンプラリー）を実施した。	B	○		○		
	(2) 交通事業者の人材不足の解消	実施可能な取組から着手				京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会において、公共交通人材（バス運転手）確保チラシを作成。チラシは令和 6 年度に実施予定のバス運転手の体験会での配布やバス事業者が行う採用活動時に活用する予定。	B	○	○			○

※進捗状況の評価基準：A 順調に推移している、B ほぼ順調に推移している、C やや遅延している、D 遅延している、E 達成困難